

1 単元名 5 すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう 「大造じいさんとガン」

2 単元について

「大造じいさんとガン」は、ガンの頭領である残雪と、狩人の大造じいさんとの間に繰り広げられる戦いを通じて、残雪のもつ知恵や統率力、勇気に対して次第に心が近づいていく大造じいさんの人間味あふれる姿を生き生きと描いた作品である。物語全体に巧みな描写が見られ、登場人物の心情を想像したり、情景を思い浮かべたりして、物語の世界に浸ることができる。その優れた表現に着目して物語の魅力を伝え合い、互いの考えを広げたり深めたりすることができる教材である。

本学級は、思ったことを素直に言葉や態度で表現する子が多い。国語の学習において文章中の会話や言葉から登場人物の心情を読み取ることはできる。しかし、登場人物の心情の変化を捉えて言葉や表現を根拠に読み取りができる児童は少なく、長文になると話の内容も分からなくなる傾向にある。

そこで本単元では、大造じいさんと残雪の関係や心情の移り変わりを登場人物の心情描写や行動描写、情景描写など作者の優れた表現を捉えながら叙述をもとに読み取る力をつけたい。また、「大造じいさんとガン」の物語の中から自分が強く印象に残った優れた表現やその理由を物語の魅力としてまとめ、伝え合うことができるようにしたい。これらの力を身に付けるために、単元の出口に「みりよくを紹介するカード(みりよくカード)」を使って作品のみりよくを伝え合おう」という言語活動を位置付ける。物語の魅力を伝え合うために、「大造じいさんの残雪に対する心情の変化」や「心情の変化につながった出来事と理由」、「情景描写」を中心に読み取り、この物語の魅力に迫っていく。子ども達は「物語の魅力を紹介する」という目的意識のもと、主体的に学習に取り組むことができると考える。

3 本時の指導にあたって

(1) 言語活動の充実を図る単元指導計画の工夫

「物語の魅力を伝え合おう」という本単元の言語活動に向けて、優れた表現に着目して読み取りを進めながらノートに書きためて、「みりよくカード」にまとめる。まず、言葉と行動等から大造じいさんの残雪に対する心情を読み取る。次に情景描写という表現を初めて学ぶため、情景の意味を理解してから2つの場面に分けて取り組むように工夫した。単元の出口では、「みりよくカード」を見せたり音読をしたりして自分が考えた物語の魅力を友達と伝え合うことができるようにする。

(2) 根拠をもとに自分の考えをもつための指導の工夫

登場人物の心情は時として、情景描写に表れることがある。挿絵や写真からどんな情景なのかを考えさせたり、明るさや色、言葉の響き等からイメージをもたせたりすることで、その時の大造じいさんの心情を想像することができるようにする。どの叙述から考えたのかをはっきりさせ、根拠をもとに自分の考えをもつことを大切にしていきたい。

(3) 考えを深め、広めるための交流の場や形態の工夫

本作品の情景描写には、優れた表現で描かれているところがある。そこには登場人物の心情も描かれており、その書きぶりはこの物語の魅力といえる。子ども達がこの優れた表現から自分の考えを深め、広げられるように深めの発問を次のように考えた。

2場面の「あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れ込んできました。」と3場面の「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」という朝の様子に表現された心情の違いについて考えさせる。2場面より思いが強まっていることを感じとらせ、情景描写が優れた表現であることに気付かせる。また、友達の考えを聞いて、自分の考えを広げたり深めたりするために、グループで交流する場を設定した。

4 単元指導計画

「大造じいさんとガン」 (全10時間)

【単元の目標】

登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめるとともに、それを発表し合い、考えを広げたり深めたりすることができる。【読】(1)エ オ

○心情や場面の様子が伝わるように音読することができる。【読】(1)ア

○語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。【伝国】(1)イ(カ)

(1) 単元で身に付けたい力 単元の評価規準

【関】人物の心情や場面の様子を表す表現を味わいながら読もうとしている。

【読】・心情や場面の様子が伝わるように音読している。

・「情景」の意味について理解している。

・登場人物の心情や動き、情景を表す表現を捉え、自分の考えをまとめている。

・友達の発表を聞いて、感想を伝え合っている。

【言】言葉や表現に気をつけて様子を想像している。

(2) 指導計画

次 / 時	ねらい	主な学習活動と学習課題	「読み取りの技」と 着目させたい語句・叙述
1	学習の見通しをもち、物語の魅力を伝える発表をするための学習計画をつかむことができる。	1. みりよくカードを使った物語の紹介を聞き、単元の学習の見通しをもつ。 物語のみりよく発表会をするまでの学習計画を立てよう。 2. 「物語の魅力」の観点を知る。 3. 教師の範読を聞き、感想を発表する。 4. 学習課題を設定し、学習計画を立てる。 すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう	A → 心の中の言葉(内言) B → 登場人物の会話 C → 登場人物の行動 D → 情景 ・ 物語の魅力の観点 (文章の種類・登場人物・ 物語の構成・文章表現・ 題材・意図・作者)
2	物語の構成や、場面ごとの作戦等の出来事に着目して読むことを通して、出来事を通して変化していく大造じいさんの心情に気付き、物語のあらすじを捉えることができる。	1. 本時の課題を確認する。 物語のあらすじをとらえよう。 2. 分からない語句を調べる。 3. 物語の構成や場面ごとの作戦を確認し、物語のあらすじをとらえる。 4. あらすじをノートに書く。	・ 今年も ・ その翌年も ・ 今年もまた ・ 一冬をこしました。 ・ タニシを付けたウナギつりばり ・ タニシを五俵ばかり ・ これをおとりに使って
3	2つの作戦に引っかけられない残雪の様子・行動に対する大造じいさんの悔しさが増していく心情の移り変わりを読み取ることを通して、優れた表現に気付き、紹介したい表現を見つけることができる。	1. 本時の課題を確認する。 ウナギつりばり作戦とタニシばらまき作戦での残雪に対する大造じいさんの気持ちを読み取り、すぐれた表現を見つけよう。 2. 残雪をしとめることができない大造じいさんの心情を読み取る。 深めの発問 1 場面では「ううむ。」と2 場面では「ううん。」と言った大造じいさんは残雪に対してどんな気持ちなのだろう。 3. 印象に残った心情表現や行動描写と選んだ理由をノートに書く。 4. 振り返る。	・ なかなかりこうなやつ(A) ・ いまいましく思って・・・(A) ・ たかが鳥のことだ(A) ・ 思わず感嘆の声を・・・(A) ・ どうしてなかなか・・・たいしたちえをもっている(A) ・ 会心のえみをもらしました。(C) ・ 目にものをみせてくれるぞ(B) ・ ぐっとにぎりしめた(C) ・ ほおがびりびりするほどひきしまる(C) ・ ううん。(B)

4	おとりを助けた場面や別れの場面での残雪の様子・行動に対して鳥ではない特別な存在としてみるようになった大造じいさんの心情の移り変わりを読み取ることを通して、優れた表現に気付き、紹介したい表現を見つけることができる。	1. 本時の課題を確認する。 おとりを助けた場面や別れの場面での残雪に対する大造じいさんの気持ちを読み取り、すぐれた表現を見つけよう。 2. おとりを助ける残雪の行動や様子から残雪を逃がしてやるまでの大造じいさんの心情を読み取る。 深めの発問 「いつまでもいつまでも見守っていた」大造じいさんはどんな気持ちなのだろう。 3. 印象に残った心情表現や行動描写と選んだ理由をノートに書く。 4. 振り返る。	・いよいよ戦闘開始だ（Ｂ） ・ぐっとじゅうをかたに当て、…が、なんと思ったか、再びじゅうを下ろしてしまいました（Ｃ） ・強く心を打たれて、ただの取りに對している気がしませんでした（Ａ） ・ガンの英雄（Ｂ） ・えらぶつ（Ｂ） ・堂々と戦おうじゃあないか（Ｂ）
5	残雪の様子や行動に対する大造じいさんの心情に着目して読み取ることを通して、「再びじゅうを下ろしてしまいました。」という言葉から心情の変化に気付き、紹介したい表現を見つけることができる。	1. 前時を振り返り、課題をつかむ。 大造じいさんの残雪に対する見方が大きく変わったところを見つけ、すぐれた表現を見つけよう。 2. 大造じいさんの残雪に対する見方が大きく変わったところを見つけ、理由を考える。 3. グループで話し合う。 深めの発問 大造じいさんは、なぜ強く心を打たれたのだろう。 4. 印象に残った心情表現や行動描写と選んだ理由をノートに書く。 5. 振り返る。	・いまいましく思って・・・（Ａ） ・たかが鳥のことだ（Ａ） ・再びじゅうを下ろしてしまいました。（Ｃ） ・いかにも頭領らしい堂々たる態度（Ｃ） ・正面からにらみつけた（Ｃ） ・ただの鳥に對している気がしない（Ａ） ・ガンの英雄（Ｂ） ・えらぶつ（Ｂ）
6 本時	情景描写に着目して読み取ることを通して、場面の様子や風景を描いた表現からも大造じいさんが作戦を失敗して悔しい気持ちや今度こそと期待する心情が読み取れることに気付き、紹介したい表現を見つけることができる。	1. 「情景」について知り、本時の課題をつかむ。 1 から 3 場面の様子や情景をえがいた表現から大造じいさんの気持ちを読み取り、すぐれた表現を見つけよう。 2. 情景描写を見つけ、そこに表現された大造じいさんの気持ちを想像する。 3. 見つけた表現や想像した気持ちを交流する。 深めの発問 2 場面の「あかつきの光が小屋の中にすがすがしく流れこんできました。」と、3 場面の「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」は、どちらも朝の様子だが、その表現の違いから大造じいさんの心情はどう違うのだろう。 4. 印象に残った情景描写と選んだ理由をノートに書く。 5. 振り返る。	・秋の日が、美しくかがやいていました。（Ｄ） ・あかつきの光が小屋の中にすがすがしく流れこんできました。（Ｄ） ・青くすんだ空を（Ｄ） ・東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。（Ｄ）
7	情景描写に着目して読み取ることを通して、場面の様子や風景を描いた表現からも残雪との別れ際の大造じいさんの晴れやかなすがすがしい心情を想像	1. 前時を振り返り、課題をつかむ。 4 場面の情景をえがいた表現から大造じいさんの気持ちを読み取り、すぐれた表現を見つけよう。 2. 4 場面を音読し、情景描写を見つけ、そこに表現された大造じいさんの気持ちを想像す	・ある晴れた春の朝でした。（Ｄ） ・らんまんとさいたスモモの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。（Ｄ）

	し、読み取れることに 気付き、紹介したい表 現を見つけることがで きる。	る。 3. 見つけた表現や想像した気持ちを交流する。 深めの発問 「らんまんとさいたスモモの花が、その羽に ふれて、雪のように清らかに、はらはらと散 りました。」という情景表現があるのとな いとは、どう違うだろう。 4. 印象に残った心情表現や行動描写と選んだ理 由をカードに書く。 5. 振り返る。	
8	これまで読み取って きた物語の魅力だと思 うポイントを考えるこ とを通して、相手に伝 わるように工夫してカ ードにまとめることが できる。	1. 本時の課題を確認する。 「大造じいさんとガン」のみりよくをま とめよう。 2. 物語の魅力のまとめ方を確認する。 3. 「大造じいさんとガン」の魅力を考え、見る 人に伝わるようにカードにまとめる。 4. まとめ方の工夫を交流する。 5. 振り返る。	
9	魅力を伝えるための 音読を工夫し、紹介の 準備をすることができ る。	1. 本時の課題を確認する。 物語のみりよくを伝えるための、発表の練習 をしよう。 2. 印象に残った場面の中から引用部分を選び、 音読の練習をする。 3. ペアで音読を聞き合い、思いが伝わる音読に なるように、アドバイスをし合う。 ・読む速さや声の大きさ、強弱の付け方、間の とり方などの観点で見て、アドバイスをす る。 4. 発表全体の練習をする。 5. 振り返る。	
10	読み取ったことをも とに魅力を紹介し、互 いの考えから共通点や 相違点を見つけ、感想 を交流することができ る。	1. 本時の課題を確認する。 友達と物語のみりよくを発表し合い、感想を 伝え合おう。 2. 物語の魅力を伝え合う。1グループ4人 ・自分の考えた魅力や選んだ表現との共通点 や相違点を見つけながら聞く。 ・感想や質問を話す。 3. 交流を通して、新しく気が付いたことや、友 達の考えから学んだことなどをまとめる。 4. 交流した感想を発表する。 5. 単元の学習を振り返る。	

(3) 単元を貫く言語活動 みりよくカードを使って作品の魅力を発表する

単元の課題「優れた表現に着目して、物語の魅力を伝え合うことができる」

目的意識	物語の魅力を伝えるために
相手意識	グループの仲間に
場面・状況意識	自分が考えた物語の魅力を
方法意識	印象に残った表現やその理由をまとめたみりよくカードを使ったり、思いの 伝わる音読をしたりして、
評価意識	優れた表現に着目して読み取ったことを元に、自分が考えた物語の魅力を伝 え合うことができたか。

5 本時のねらい

情景描写に着目して読み取る活動を通して、場面の様子や風景を描いた表現からも大造じいさんが作戦を失敗して悔しい気持ちや絶対しとめてやるという心情などが読み取れることに気づき、紹介したい表現を見つけることができる。

6 本時の展開 (6 / 9)

学習活動と児童の姿		願う児童の姿を具現するための指導・援助
		根拠をもとに自分の考えをもつための指導の工夫： ア 考えを深め、広めるための交流の場や形態の工夫： イ
つかむ / 考える	1 「情景」について知り、本時の課題をつかむ。 - 情景とは、人物の心情とひびき合うようにえがかれた風景や場面の様子。 1 から 3 場面の情景をえがいた表現から大造じいさんの心情を読み取り、すぐれた表現を見つけよう。 2 1 場面の情景描写「秋の日が美しく輝いていました。」を見つけ、そこに表現された大造じいさんの心情を想像する。 「美しく輝く」から何かいいことがありそうな感じがします。大造じいさんの今日もガンが捕れるぞと思って、わくわくしている気持ちが表れていると思います。 3 2, 3 場面から情景描写を見つけ、そこに表現された「大造じいさん」の心情を考える。 4 全体で交流する。 「あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れ込んできました。」 「あかつきの光」は暗闇から太陽の光が差し込んでくる感じがするし、「すがすがしく」という言葉からも、大造じいさんの「今までの失敗から抜け出して、今度こそうまくいく。」という気持ちが表れていると思います。 「青くすんだ空を」 「青くすんだ」青はさわやかな明るいイメージなので、うまくいくと自信満々の気持ちが表れていると思います。 「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」 - 前に書いてある戦闘開始という言葉にもあるように「残雪を絶対にしとめてやる。」という激しい思いや今までの悔しい気持ちが表れていると思います。	ア 残雪の様子や行動とともに変化する大造じいさんの心情の移り変わりを掲示しておき、見つけた情景描写がどこに入るかを確認するように促す。 ア 書けない子に情景描写の前の場面では大造じいさんがどんな気持ちになっているのかを考えるように助言する。 ア 表現に合った空の画像を提示して、「あかつきの光」や「真っ赤な空の朝」の様子を捉えさせる。 イ 大造じいさんの心情を交流し、そう考えた根拠を言葉や表現から示して話すようにする。
	6 深めの発問 (グループで意見交流) 2 場面の「あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れ込んできました。」と、3 場面の「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」は、どちらも朝の様子だが、その表現の違いから大造じいさんの心情の違いを考えよう。 2 場面より 3 場面の方が、「真っ赤」「燃えて」など赤のイメージが強いから、悔しい気持ちがさらに強くなった感じがします。 7 2, 3 場面の情景表現の中で自分が印象に残った表現とその理由を書く。 8 書いたことを発表する。 「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」の所が印象に残りました。「あかつき…」と比べると、大造じいさんの「今度こそしとめてやる」という気持ちが強くなったことが強調されているからです。 「あかつきの光が、小屋にすがすがしく流れ込んできました。」の所が印象に残りました。この場面が一番大造じいさんの「またうまくいくだろう」と期待している気持ちに合っていると思ったからです。 9 振り返る。	イ 深めの発問では、一人一人が自分の考えを話し、仲間の意見を自分の考えと比べて聞くようにする。 評価規準 【読む能力】 情景描写が表している残雪に対する大造じいさんの心情を、言葉の響きやイメージ、話の流れから読み取っている。(ノート・発言) 情景を表している文章表現から、残雪に対する大造じいさんの心情を想像することができる。「認識力」